



浜松市

## 平成23年度 外部評価資料

資料番号	事業名	所管課
3-3	創業支援事業	産業政策課

# 事業シート2

課コード: 001701000  
 担当組織: 産業政策課

作成日: 平成23年5月30日  
 責任者: 三井 啓義

基本政策	課	政策	目	事業	
計画コード	01	01	0101	01	010102

款	項	目	事項
予算コード	31	31	06 10

款	項	目	事項

## 事業名: 創業支援事業

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度	23年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	22年度	23年度	比較
	92,010	86,704	△ 5,306		0.5	0.5	0.0
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
		20,643			47,549		18,512

### ◆事業の目的

浜松イノベーションキューブ(HI-Cube)、テクノフロンティア浜松及び浜松市ソフトインキュベートルームの3か所の創業支援施設に入居する、創業間もない事業者に対し、貸室・貸工場の賃料補助、専門家によるアドバイスなどの経営・技術支援等を行い、開発テーマの事業化や新分野への展開を支援する。

### ◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

#### ①浜松イノベーションキューブ入居者支援事業

・浜松イノベーションキューブ入居者に対し、賃料の一部を助成するとともに、経営・技術・知財に精通するインキュベーションマネージャーを配置し、開発テーマの事業化について支援を実施する。  
 インキュベーションマネージャー 1人工、事務補助員1人工  
 入居5年以下の企業に対し、賃料の1/2以内を補助(補助対象:44/47室)  
 但し、平成23年度の緊急措置として、入居期間5年を超える企業のうち、基準を満たす企業に限って、補助期間の延長措置を講ずる。(賃料の1/4以内を年度内に限り補助)

#### ②テクノフロンティア浜松育成・推進事業

・テクノフロンティア浜松入居者に対し、賃料の一部を助成する。  
 入居3年以下の企業に対し、1㎡あたり月額600円を補助(補助対象:2/10室)

#### ③ソフトインキュベートルーム運営事業

(株)浜名湖国際頭脳センター(施設)のうち7室を借り上げ、成長性が見込まれる情報通信分野やソフトウェア業等の起業者・創業者への支援としてインキュベートルームを安価で提供する。  
 1部屋あたり 70,000円/月額(共益費、駐車場代、高速通信回線使用料を含む)  
 また、ソフトインキュベートルーム及び地域産業情報交流センター管理委託業務を(株)浜名湖頭脳センターに委託することにより、入居者の経営、技術等に関する支援や、事業の拡大に向けた支援等を行う。

### ◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

#### ①浜松イノベーションキューブ入居者支援事業

・浜松イノベーションキューブ入居者に対し、賃料の一部を助成するとともに、経営・技術・知財に精通するインキュベーションマネージャーを配置し、事業化支援を実施した。  
 インキュベーションマネージャー 1人工、事務補助員1人工。  
 入居5年以下の企業に対し、賃料の1/2を補助(補助対象:44/47室)

#### ②テクノフロンティア浜松育成・推進事業

・テクノフロンティア浜松入居者に対し、賃料の一部を助成した。  
 入居3年以下の企業に対し、1㎡あたり月額600円を補助(補助対象:2/10室)

#### ③ソフトインキュベートルーム運営事業

(株)浜名湖国際頭脳センター(施設)のうち7室を借り上げ、成長性が見込まれる情報通信分野やソフトウェア業等の起業者・創業者への支援としてインキュベートルームを安価で提供した。  
 1部屋あたり 45,000円/月額(共益費、駐車場代、高速通信回線使用料を含む)  
 また、ソフトインキュベートルーム及び地域産業情報交流センター管理委託業務を(株)浜名湖頭脳センターに委託することにより、入居者の経営、技術等に関する支援や、事業の拡大に向けた支援等を行う。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
平成 11 年	年	自治事務						
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計							○	
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	*H20は事業仕分け							

(単位:千円)		H22	H23	H24計画	H25計画	H26計画	H23~26計
事業費	予算	92,010	86,704	86,704	86,704	86,704	346,816
	決算	80,873					0
財源内訳	国・県支出金						0
	市債						0
	その他	8,965	11,245	11,245	11,245	11,245	44,980
	一般財源	71,908	75,459	75,459	75,459	75,459	301,836
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)							0
人件費		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000
内訳	人工(正規)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	—
	人工(非常勤)						—
	人工(再任用)						—
年間経費(事業費+人件費)		84,873	90,704	90,704	90,704	90,704	362,816

成果指標1 施設入居率		単位	H22	H23	H24	H25	H26
種類	アウトプット(活動指標)						
	目標	%	100	100	100	100	100
	実績	%	100				

成果指標2 施設入居企業の営業利益増加企業数		単位	H22	H23	H24	H25	H26
種類	アウトカム(成果指標)						
	目標	社	6	6	6	6	6
	実績	社	2				

◆事業の成果(平成22年度末時点での目的の実現状況 ※活動ではなく状態)

新事業創出型の創業支援施設に入居する新規性、成長性のある中小・ベンチャー企業に対し、入居賃料の助成、インキュベーションマネージャー(IM)による経営・ビジネスプラン作成等に関するアドバイスをを行った結果、光電子関連のベンチャー企業をはじめとして、入居するそれぞれの企業の事業化が進んでいる。

①浜松イノベーションキューブ入居者支援事業:47部屋中に47部屋(28社)入居(27社が入居賃料補助対象、IM支援あり)

②テクノフロンティア浜松育成・推進事業:10室中10室(8社)全てに入居(うち2社が入居賃料補助対象)

③ソフトインキュベートルーム運営事業:7室中7室(7社)に入居(定額賃貸)

## ◆評価(平成22年度事業の評価)

### (1) 必要性: 継続

(理由)

新規性、成長性のある開発テーマを持つ中小・ベンチャー企業に対し、創業支援施設の入居賃料の助成、経営・ビジネスプラン作成等に関するアドバイスを行った結果、光電子関連のベンチャー企業をはじめとして事業化が進んでおり、新産業創出という政策目的に適っている。

### (2) 実施主体: 市

(理由)

地域企業への創業支援は、本市経済の持続的な成長や不況に強い複合的な産業構造を構築し、税収の確保、都市間競争力の強化につながるものであり、市として戦略的に行う事業である。

### (3) 選択と集中 現状

(理由)

新規性・成長性ある中小・ベンチャー企業の創業段階への支援は、既存産業の技術革新と並んで優先して行うべき事業である。

### (4) 改善: その他改善

(理由)

中小・ベンチャー企業の自立的経営の観点から、入居賃料の補助率が適正であるか検証する必要がある。また、現状のインキュベーションマネージャー等の入居者支援について、その効果を検証し、業務委託の仕様を随時見直すことにより、一層の支援充実を図っていく。

### 今後の方向性 改善

新産業創出に向けて、創業間もない中小・ベンチャー企業に対して、本事業による集中的な支援は必要であるが、その効果を更に高めるために、入居者支援の現状、支援内容のあり方、目標設定、さらには施設を卒業した企業のフォローアップ方法等、検証・検討を今後進めていく必要がある。

## ◆改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

### (1) これまでに実施した改革・改善(平成23年度予算で反映したものを含む)

ソフトインキュベートルームの入居賃料の見直しによる賃料の適正化(月額45,000円を70,000円に引き上げ)

(株)浜名湖頭脳センターから市が借上げる施設賃借料の見直しによる賃借料の減額

ハイキューブ及びテクノフロンティア浜松に入居する企業の補助期間の見直し(平成23年度緊急措置)

ハイキューブにおけるインキュベーションマネージャー及び事務補助員の業務に関して一部変更を行い、技術開発面、販路開拓面の支援強化を図っていくもの。

### (2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

各インキュベートルームの入居者が計画どおりに開発・研究テーマを事業化し、予定期間を以って施設からの卒業(退去)できるよう、支援の多様化や充実を図っていく。

# 補足シート2-①

	款	項	目	事項
予算コード	31	31	06	10

事業名：創業支援事業費補助金

事業費 (予算) (単位:千円)	22年度 47,549	23年度 47,549	比較 0	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金 ○	市民協働
23年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金 47,549	扶助費	その他 0	

## ◆事業内容(平成23年度に何をやるか)

- ①浜松イノベーションキューブ入居者支援事業
  - ・浜松イノベーションキューブ入居者に対し、賃料の一部を補助する。  
入居5年以下の企業の対し、賃料の1/2以内を補助(補助対象:44/47室)  
但し、平成23年度の緊急措置として、入居期間5年を超える企業のうち、基準を満たす企業に限って、補助期間の延長措置を講ずる。(賃料の1/4以内を年度内に限り補助)
- ②テクノフロンティア浜松育成・推進事業
  - ・テクノフロンティア浜松入居者に対し、賃料の一部を助成する。  
入居3年以下の企業に対し、1㎡あたり月額600円を補助(補助対象:2/10室)

## ◆これまでの取組状況(平成22年度に何をを行い、その結果はどうだったか)

- ①浜松イノベーションキューブ入居者支援事業
  - ・浜松イノベーションキューブ入居者に対し、賃料の補助を実施した。  
入居5年以下の企業の対し、賃料の1/2を補助(補助対象:44/47室)
- ②テクノフロンティア浜松育成・推進事業
  - ・テクノフロンティア浜松入居者に対し、賃料の一部を助成した。  
入居3年以下の企業に対し、1㎡あたり月額600円を補助(補助対象:2/10室)

## 論点シート

事業番号	3 - 3	事業名	創業支援事業
部局	商工部	所管課	産業政策課
H23 予算	86,704 千円	所管課	改善（その他）
H22 予算	92,010 千円	一次評価	
評価対象事業についての論点等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトインキュベートルーム運営事業は、（株）浜名湖国際頭脳センター（施設）のうち7室を市が借り上げ、入居企業に対して70,000円で貸し付けている。併せて入居企業に対する支援業務などを（株）浜名湖国際頭脳センターに委託しているが、市と（株）浜名湖国際頭脳センターの役割及び負担は妥当か</li> <li>・ソフトインキュベートルーム及び地域産業情報交流センター管理委託業務の内容は             <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居が目的になっていないか</li> <li>・産業の創出に効果が現れているか</li> <li>・業績が上がらない入居者に対して、退去命令を出せるなどの制約はあるか</li> </ul> </li> </ul>			
評価対象事業についての二次評価			
<p>【改善（その他）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトインキュベートルーム運営事業について、市と（株）浜名湖国際頭脳センターの役割及び負担を見直すべき</li> </ul>			